

慶應義塾大学が世界レベルの研究・教育を通じた「知」の資産をもとに MOOCs (Massive Open Online Courses) コンテンツを開発し、ソーシャルラーニングプラットフォーム **FutureLearn** を通じて、全世界に向けて配信しています。受講者は、ビデオ、読み物、ディスカッション、クイズ等を通して、担当者や受講者とのコミュニケーションを楽しみながら学んでいきます。(全て英語表記です。)



<https://goo.gl/zTimu6>



Japanese Culture Through Rare Books

書籍が日本の文化史に果たした重要な役割を探求しよう!

書籍は言葉とイメージを保存するためのツールです。書籍を通して、過去の人々の知識や経験といった豊富な情報が現在に伝えられてきました。しかしながら、書籍というのは言葉やイメージだけではなく、実にそれ以上の情報を記録しています。それは書籍の外観、書式、綴じ方法、脚本、表紙のスタイルなどです。それらから時代毎の流行や技術を垣間見ることができます。私たちは、古書に向き合うことで、地理や歴史的な背景、そして書籍に携わった人や組織について学ぶことができます。

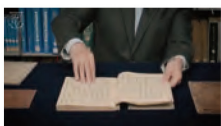
このコースでは、こうして書籍が日本の文化史に果たした重要な役割を探求するとともに、アジアで使用されている主要な製本方法、および書籍の再製本の実例を豊富な画像を通じてご紹介します。日本並びに東洋の精神文化を研究する慶應義塾大学附属研究所斯道文庫が所蔵する貴重書コレクションを通じて、伝統的な日本の書籍の世界を旅しましょう!



古書の街、神保町で学ぶ



慶應義塾日図書館 (重要文化財)



書籍の製本方法を解説

講師陣



佐々木 孝浩
(斯道文庫)



一戸 渉
(斯道文庫)



Gian Piero Persiani
(平安文学専門家)



Sino-Japanese Interactions Through Rare Books

書物を通して、日本の異文化受容の歴史を紐解く旅へでかけましょう!

書籍は日本の文化、特に中国から持ち込まれた文化の形成に大きな役割を果たしてきました。このコースでは、孔子および『論語』を例に取り、日本と東アジアにおける書籍と宗教がどのように結びついているか、書籍がどのようにして日本へ伝わってきたのか、そして中国文化が日本の文化にどのように影響したかを学びます。

さらに、日本人が中世から近世にかけて中国と韓国の書籍をどのように研究し、普及させたのか、そして日本独自の書籍文化をどのように形成していったのか。このコースでは、日本で最も古い学校として知られる「足利学校」や京都の建仁寺「両足院」等の要所も併せてご覧いただけます。



建仁寺「両足院」を訪ねて



足利学校で論語について学ぶ



斯道文庫の古書に触れる

講師陣



堀川 貴司
(斯道文庫教授)



住吉 朋彦
(斯道文庫教授)



高橋 智
(文学部教授)



Gian Piero Persiani
(平安文学専門家)

全 3 週間のコース

各週 3 時間

全 4 週間のコース

各週 3 時間

慶應義塾大学が世界レベルの研究・教育を通じた「知」の資産をもとに MOOCs (Massive Open Online Courses) コンテンツを開発し、ソーシャルラーニングプラットフォーム **FutureLearn** を通じて、全世界に向けて配信しています。受講者は、ビデオ、読み物、ディスカッション、クイズ等を通して、担当者や受講者とのコミュニケーションを楽しみながら学んでいきます。(全て英語表記です)



<https://goo.gl/zTimu6>



少女マンガ、アニメ、ロボット、コスプレ…… ようこそ! 日本のサブカルチャーの世界へ!

日本のサブカルチャーの世界を通じて、1970年代以降の日本の若者文化を考察する、全世界の受講者から「サブカルチャーは日本を代表する文化だ」等と高評価を得たコースです。第1週目は、「Love」をテーマに大串尚代文学部教授が、第2週目は「Battle」をテーマに高橋勇文学部教授が、第3週目は「Technology」をテーマに新島進経済学部教授が、そして第4週目は「Fan culture」をテーマに大和田俊之法学部教授が講義します。第4週目では、SF & ファンタジー評論家の小谷真理氏とコスプレ文化に関する対談、講師陣による座談会「2D, 2.1D AND 2.5D」、「MOE AND OTAKU」も収録しました。

ビデオには日英の字幕をつけ、読み物も日英両方のファイルをダウンロード可能とするなど、言語にとらわれずにグローバルな学びに参加しやすい環境を整えました。世界中の皆さんと一緒に学んでみませんか? ぜひご参加ください。



各週のテーマに合わせて、講師自身がサブカルチャーの世界観を演出

講師陣



大串 尚代
(文学部教授)

高橋 勇
(文学部教授)

新島 進
(経済学部教授)

大和田 俊之
(法学部教授)



量子コンピュータの分野へ進もうとする 高校生や大学生へ

環境情報学部の Rodney Van Meter 准教授、政策・メディア研究科の佐藤貴彦特任助教が講師を務め、高校生や、これから量子コンピュータの分野に取り組もうと考えている方に向けて、量子コンピュータとは何か、身近な生活にどのように役立つのか、実用化に向けた取り組み等をわかりやすく、必要最小限の数学を用いグラフィカルに展開します。

第1、2週目と量子コンピュータの構築、量子コンピューティングにおける重要な原則およびアルゴリズムについて学習し、第3週目には、理工学部長の伊藤公平教授をはじめ、東京大学の古澤明教授、中村泰信教授のインタビューを通じて、量子コンピュータの研究における最先端を学びます。



伊藤公平 (理工学部長)

古澤明 (東京大学教授)

中村泰信 (東京大学教授)

講師陣



Rodney Van Meter
(環境情報学部准教授)



佐藤 貴彦
(政策・メディア研究科特任助教)

全 4 週間のコース 各週 4 時間 全 3 週間のコース 各週 4 時間